

どんぐり村の こみ・すく通信

令和 6年 8月 10日発行

令和6年度 第9号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その5>

更小4年生が浄化センター見学 下水がきれいな水になるまでを学ぶ

7月4日、更別小学校、上更別小学校4年生が、社会科の見学学習で更別浄化センターを訪れました。

水質を管理している更別企業の森田さんからは、汚水の汚れを食べて水をきれいにしてくれる微生物を顕微鏡で見せてもらいました。この微生物がいないと水はきれいにならないそうです。顕微鏡で見るといろいろな微生物があり、微生物を発見しては「動いてる!」「かわいい!」と反応する子どももいました。



また、浄化センターの管理をしている役場の矢野さんからは、下水処理の歴史と、どのように下水をきれいに処理していくのかを施設の機械の紹介しながら教えてもらいました。



中央中学校 一日防災学校 地域の方と一緒に もしもの時に備えて

7月8日、更別中央中学校で村内の各機関のご支援をいただき、一日防災学校を実施しました。1時間目は全校で避難訓練を行い、その後、学年毎にさまざまな体験をしました。

【1年生～避難所設置】

役場総務課の村田さんが講師として来校。更別村の過去の自然災害・避難所について学び、実際に赤十字奉仕団、シルバーハウジングに住んでいる人たちと一緒にテント・ベッドを組み立てました。また、社会福祉協議会の小丹枝さんから新聞紙スリッパの作り方を教わり、実際に作ってみました。



【2年生～救命講習】

消防署の石山さん、岩谷さん、奥平さんから、他人の命を救うための初動的な知識と技能を習得するため心臓マッサージとAEDの使い方を教わりました。全員が真剣に実習していました。



【3年生～サバイバルクッキング】

一戸栄養教諭に教わり、赤十字奉仕団の方々と一緒に、ビニール袋を使って湯煎でできる「白米」「筑前煮」「栗蒸しパン」を作りました。また、小丹枝さんから紙のお皿の作り方も教わりました。



もしもの時、今回の体験をぜひ生かして欲しいと思います。